

湖山医療福祉グループ

社会福祉法人草加福祉会

平成27年度事業報告書

(自 平成27年4月1日 ～ 至 平成28年3月31日)

自らが
受けたいと思う

医療と福祉の
創造



法人事業報告

平成27年度は社会福祉法人の在り方が問われる中、介護報酬の引き下げや介護職員不足といった逆風をはね返すべく、計画目標達成に向け取り組んでまいりましたが、達成に至らぬ点が多く、課題が残った年度となりました。

以下、平成27年度の法人重点取組項目別に実績概要を確認させていただきます。

まず、経営計画予算の達成についてですが、様々な会議、打ち合わせの場を通じて施設の稼働向上意識を徹底してきましたが、残念ながら売上高、経常利益ともに予算計画未達の結果となりました。その中でも、介護報酬引き下げを補うべく稼働率が前年比超えとなったことについては一定の評価をしたいと思います。目標の利益水準に届かなかったことについては、改善の場である法人会議が実効性のあるレベルに至っていないことが要因であったと反省し、今年度は目標達成に向けた強固な仕組みを作ってまいります。

次に人材育成についてですが、この点こそが当法人の喫緊の課題であり、今年度の最大の目標でもあります。介護事業の要となるのはそこで働く職員であることは言うまでもありません。平成27年度は法人の人材育成の目玉である介護福祉士実務者研修の KOYAMACollege(コヤマカレッジ)を草加校と相模原校の2校で開催し、30名を超える職員が参加したほか、法人や湖山グループが主催する研修を計画に沿って行いました。しかし、階層別や部門別等の細やかな対応までには至らず今年度の目標の一つとなっています。また、職員の離職率を見ると対前年比では減少しましたが、満足できるものではなく、より一層の定着に向けた努力をしてまいります。

次に新規事業についてですが、神奈川県相模原市において、平成29年4月1日開設を目指した新規特養マナーハウス麻溝台の建築が始まりました。事業概要は、特養140床、ショートステイ20床で、訪問介護、居宅介護支援事業も併設し、また事業所内保育所を設置する計画です。この他に、千葉県我孫子市の特養計画と同じく千葉県流山市の福祉会館の指定管理に応募しましたがこちらは残念ながら落選となりましたが、今後も指定管理を中心に新規事業に取り組んでまいります。

最後に組織体制に関わることについてですが、27年度も法人運営の中心は法人会議であり、これは月2回施設長、管理課長以上の役職者全員出席の下行いました。データの集積ということでは一定の成果が見られましたが、活用、実践についてはまだ弱い部分も多く、今後の課題であります。そして、ISO9001ですが、これを法人の原動力と位置づけ、事務局を中心に法人全体で推進し、新たに6事業所での認証取得に取り組みました。ISOの活用のみならず、こやまケアの推進と併せて、単なるISO認証取得目的ではない、「介護のプロ」としての真のサービスレベル向上のために引き続き取り組んでまいります。

また、目標管理制度においては、法人の目標、施設の目標、各部署の目標、職員の目標がしっかり連鎖する仕組みを確立すべく努めてまいりましたが、一定の成果はあったものの、まだ十分なレベルにあるとはいえません。目標管理制度は組織運営と個人評価の前提となるもので、今後も引き続きその徹底に努めてまいります。

草加福祉会は、今後高齢化が最も進むとされている首都圏の中で、お客様のニーズに確実に応え、地域の方に愛され、多くの方に訪れていただけるような施設づくりを日々目指してまいります。既に存在している、「美術館併設特養」、「映像美術館併設特養」、そして来春開設の特養は「パラメディカル型特養」を目指すなど、ハードやソフトにユニークな発想で取り組み社会に貢献してまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。